

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/12/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

「オミクロン」の消化進み、安値修正の動き

NY原油先物相場は、1バレル=73ドル台後半まで切り返す展開になった。週明け12月10日の取引では新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」のリスク織り込みが改めて進み、一時は66.12ドルまで急落した。しかし、その後は原油需要や投資環境に対する深刻な脅威にはならないとの見方が優勢になり、23日高値は73.95ドルに達している。クリスマス休暇前の薄商いになるが、11月26日以来の高値を更新している。

「オミクロン」の感染は世界各地で広がりを見せており、オランダがロックダウンの再導入を行うなど、行動規制強化の動きは続いている。ただ、重症化リスクが低いとの評価に変化はなく、米政府は現時点ではロックダウン再導入の必要性はないと結論付けている。また、ワクチンのブースタ接種、経口治療薬など医療側の対応が急ピッチに進んでいることで、原油需要環境に対する影響は限定的、一時的との見方が安値修正を促した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (12月17日時点) は、原油が前週比472万バレル減、ガソリンが553万バレル増、石油精製品が40万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

リスクオフ一服で下値固まるも、年末に向けて小動きか

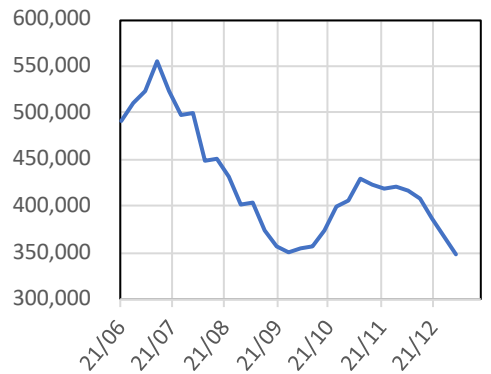
「オミクロン」のリスク評価に注意が求められるが、このまま原油需要環境に対する影響は大きくないとの見方が維持できれば、70ドル水準が支持線として機能し、同水準割れでは押し目買いが膨らみ易くなる。「オミクロン」が報告される前の11月24日終値が78.39ドルであり、同水準にどこまで近づけるかが打診される。ただ、クリスマスを終えて年末までの期間は、例年殆ど値動きがみられない傾向が強い。このまま下げ一服も、上昇余地は限られる地合を想定したい。

足元の原油需給はタイトであり、期近限月に対するプレミアム加算の動きはポジティブ。米原油在庫の減少傾向が続いており、過去5年のレンジを下回る低在庫環境が、改めて原油相場を期近限月主導で下支えしている。しかし、今後の原油需給は供給「不足」から供給「過剰」への転換が促され易く、短期目線での上昇エネルギーとの評価に留まる可能性が高い。12月29日に発表される米エネルギー情報局（EIA）の週間需給統計が今年最後のイベントになる。

年明け後の1月4日には石油輸出国機構（OPEC）プラスの閣僚級会合が開催されるが、事前の協議が活発化しているとは言い難い。ロシアのノバク副首相は、政策調整の議論は時期尚早としている。現在の需給、価格環境であれば緩やかな増産対応が継続される可能性が高く、原油相場に対する影響は限定される見通し。

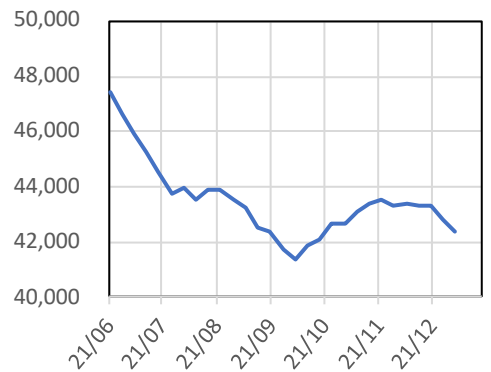
クリスマス休暇を終えて薄商いで値が飛ぶ可能性に注意しつつも、このまま年末に向けては持ち高調整中心の展開が維持されよう。株価、ドル相場の値動きを見ながらの小動きに留意し。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



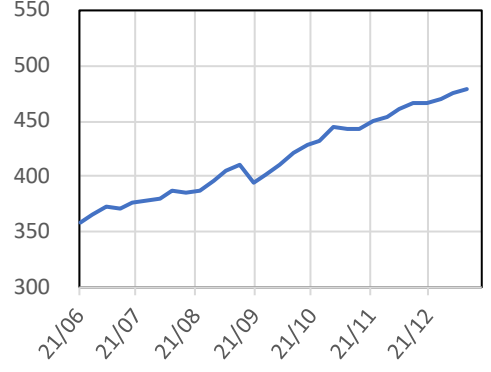
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

